

農林水産技術会議プロジェクト研究公開シンポジウム

# クラゲの海からサカナの海へ

豊かな海を目指す研究プロジェクト

**STOPJELLY + SUPRFISH**  
クラゲを止めよ！ もっとサカナを！

2009. **11.16** 月 13:30-17:00

会場：大手町サンケイプラザホール

地下鉄大手町駅下車 A4・E1 出口直結

## 基調講演

クラゲの海からサカナの海へ：海を知り、守り、利用する

[ 齊藤 宏明 独立行政法人水産総合研究センター室長 ]

## SUPRFISH 研究成果

サカナの増減は地球の変化 [ 渡邊 良朗 東京大学海洋研究所教授 ]

マイワシの成長・回遊モデルの最先端 [ 伊藤 進一 水産総合研究センター室長 ]

## STOPJELLY 成果報告

なぜ起こるクラゲ大発生：予測と制御に挑む [ 上 真一 広島大学教授 ]

クラゲとサカナの気になる関係 [ 益田 玲爾 京都大学准教授 ]

## ポスター発表

最先端の研究成果を研究者から直接聞くことができます。

海洋観測機器やクラゲの水槽展示を行います。クラゲの赤ちゃんを顕微鏡でみてみよう！

**入場  
無料**

参加申し込みは <https://form.affrc.go.jp/fra/accept/index.html>

主催： 農林水産省農林水産技術会議事務局・独立行政法人水産総合研究センター・広島大学

後援： 東京海洋大学・日本水産学会・水産海洋学会・日本海洋学会・日本プランクトン学会

お問い合わせ： 水産総合研究センター

TEL: 045-227-2710 FAX: 045-227-2700

豊かな海を目指す研究プロジェクト

# SUPRFISH + STOPJELLY

イワシやサバ等の浮魚類は数十年周期で大発生と資源の急減を繰り返すため水産経営の不安定化要因となっています。また、世界各地でクラゲ類が大発生して、漁業被害をおこしています。これら、海洋生物の大発生や資源急減は、自然の気候変動や人為的な環境悪化が原因であると考えられていますが、その詳しい原因は不明でした。

農林水産省では、海をよりよく知るにより、水産資源を持続的によりよく利用するための研究を推進しています。その中で、気象変化が魚類資源の大変動を引き起こす原因を解明し予測する SUPRFISH と、クラゲ類の大発生機構解明と対策技術開発のための STOPJELLY の 2 課題からなる研究プロジェクト「環境変動に伴う海洋生物大発生の予測・制御技術の開発」を平成 19 年度より開始しました。

本シンポジウムでは、マイワシの成長・回遊モデルやクラゲ類の大発生機構といった、海洋生物大発生プロジェクトの成果を分かりやすく紹介すると共に、最新の海洋観測機器やクラゲの赤ちゃんを顕微鏡で見ながら、研究の最前線に立つ科学者から直接研究の内容を聞き、質問できるコーナーを設けます。お楽しみに！



## アクセス：

東京駅丸の内北口より徒歩 7 分  
地下鉄丸ノ内線、半蔵門線、千代田線、東西線、  
都営三田線大手町駅下車 A4・E1 出口直結

## 参加申し込み：

下記 URL からあるいは FAX でお申し込み下さい  
URL: <https://form.affrc.go.jp/fra/accept/index.html>  
Fax: 045-227-2700

申込時の個人情報は本シンポジウムの運営管理の目的にのみ  
使用させていただきます。

FAX 送信状 (FAX でお申し込みの方はこの用紙をご利用ください)

## シンポジウム「クラゲの海からサカナの海へ」参加申し込み

川崎チーフ研究開発コーディネーター宛 (FAX: 045-227-2700)

\* 氏名：

\* 連絡先 (TEL):

所属：

\* は必ずご記入ください